

「米山奨学生レクリエーション」開催の報告

日 時: 2007年10月14日(日)

場 所: 宝塚大劇場

出席者: 近藤PG(米山記念奨学会常務理事)、

三木G補佐(IM8組)、岡田委員長、池田副委員長、

笠原、村橋、磯田、石山各委員、ロータリアン及び家族(46名)、

奨学生及び家族(39名)、学友会及び家族(10名)〈参加者総数106名〉

2660地区米山奨学委員会

副委員長 池田 文治

(大東中央RC)

2007年度「米山奨学生レクリエーション」が上記日程にて開催されましたので報告いたします。この「レクリエーション」は米山奨学生に日本の文化を紹介する事と奨学生同士の親睦を深めクラブのロータリアンやその家族と、より一層コミュニケーションを深めて頂く事を目的として毎年開催されています。

今年の宝塚歌劇の演目は第一部「アデュー・マルセイユ」、第二部がグランドレビュー「ラブ・シンフォニー」の2部構成です。いずれも「花組」の公演で、特に今回は花組の男役、春野寿美礼さんの引退公演という事もありとても盛況でした。

華やかな公演も2時過ぎに終演となり、私たちロータリアンと米山奨学生は、大劇場3Fのエスプリホールへ移動し懇親会を行いました。まず始めに米山奨学会の常務理事になられた近藤雅臣PGが挨拶され、米山奨学生を世話しておられるロータリアンに感謝と労いを述べられ、奨学生には励ましの言葉を贈られました。続いて、地区米山奨学委員会岡田義昭委員長が、歴史ある「宝塚劇場」の紹介を含めて挨拶しました。

次は奨学生の皆さんに自己紹介を兼ねて宝塚の感想を発表して頂きました。大阪東淀RCの奨学生 陶さんとロータリアンの中田さんから一組ずつ32組全員が順に壇上に上がります。「歌劇」についての感想は殆どの方が「素晴らしかった」「感動した」「こんなラブストーリーにあこがれます」等々、みんな心から感激してくれたようです。例会や日常生活についての報告は、「一緒にプロ野球を見に

行きました」とか「歌舞伎を一緒に見ました」など世話クラブのロータリアンと共にいろいろな所へ連れて行って貰っているようです。例会参加は月に一度ですが複数の奨学生が「卓話」も経験していました。なかには、クラブの「ダンス同好会」に入って一緒にダンスを楽しんでいると発表してくれた人もいます。話の中で何人かの奨学生はカウンセラーやクラブのロータリアンを日本のお父さんお母さんと呼んでくれるなど、とても素晴らしいコミュニケーションがとれていると感じられます。奨学生の発表の途中で三木G補佐の乾杯で開宴となり食事が始まりました。そして全ての奨学生が話し終わると、学友会の林会長から学友会の案内とスタッフの紹介があり、最後に私の挨拶でレクリエーションの日程が終了しました。

午前10時に登録が開始され、ロータリアンと奨学生がそろって受付にやって来る時に、毎年必ず何組かの人は待ち合わせに遅れたり、中には今日になって日にちを間違えていたとか、もっとコミュニケーションをとってほしいと感じる事もありますが、懇親会で親子のようなロータリアンと米山奨学生を見ると充実感で一杯になります。この奨学生たちが何十年か後には国際社会で素晴らしい活躍をしてくれると信じて、報告を終わらせて頂きます。

